

<p>教育目標</p>	<p>知・徳・体を錬磨し、国家及び社会の限りない伸展に貢献するとともに、人類が築いた文化遺産の継承発展に資する心身ともに健康な日本人を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真理と正義を愛しひたむきに学ぶ若人 ・勤労と責任を重んじいつくしみにあふれる若人 ・心と体を鍛えたくましく生きぬく若人 	<p>本年度の重点目標</p>	<p>「自己を伸ばし、自己を活かす」学校一変^い化を恐れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新川プライドの醸成を ○学び合う場の充実を ○3年間を生徒の成長物語に
<p>校訓</p>	<p>つちかい かがやけ</p>		

項目（担当）	重点目標	具体的方策	中間評価	評価結果と課題（◆が課題）
<p>教職員の多忙化解消の取組（全職員）</p>	<p>教職員の働き方にメリハリをつけ、業務の円滑な遂行と充実につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の点検及び精選 ・教員間の協力体制の在り方の点検と改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会、分掌会、教科会での議題・内容を充実させることにより、業後の職員会議の開催回数を削減した。また、毎月1回、定時退校日を徹底してきた。また、毎日退校時間の目安を早めに示して計画的に業務を行うことを促すことができた。今後も、今取り組んでいる業務がどれだけ生徒にとって教育的効果があるかという視点で業務を精選、効率化することを検討していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆職員会議の開催回数については、今年度の反省を踏まえ、来年度も、精選しつつより適切な回数を設定したい。 ・定時退校日を予告し徹底したことや退校時間の目安を早めに示し計画的に業務に取り組むよう促したことはよかった。 ◆今後も、職員の在校時間縮減のため、業務の精選、効率化を促進するとともに、職員間の業務の分担のバランスを図るよう努め、計画的に業務を遂行できるようにしていきたい。
<p>学校行事の充実（総務・特別活動）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災活動の充実 ・儀式的行事の充実 ・学校行事への生徒の積極的参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全委員の活動を明確化し、活動しやすい環境をつくる。 ・学校への帰属意識や連帯感を深めるため、儀式的意義を理解しやすい運営に心がける。 ・各行事の際に、議員、生徒実行委員会等を企画準備段階から活動させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災セミナーや清須市総合防災訓練に参加した生徒の防災意識を高めることができた。今後は、文化祭や11月の防災津波の日の行事で生徒の活動紹介や発表等を通して、学校全体の防災意識を高めていきたい。 ・しっかりとした儀式的運営ができています。さらに充実した卒業式になるよう周到な準備をしていきたい。 ・中学生の学校見学会や文化祭の受付に、各委員が意欲的に協力してくれている。 ・体育祭、文化祭では、今年度新設した議員が、クラスと生徒会との連携役として、期待どおりの活動をした。 ・スポーツ大会に向けて、生徒実行委員会を組織する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「高校生のための防災セミナー」に参加した生徒は、防災意識が向上し、防災講話時の発表にも意欲的に取り組んだ。避難訓練を事前予告なしで実施したいとの意見もあるので、より効果的な実施の方法を考えていきたい。 ◆防災行事を活用し、学校全体の防災意識を高めていくことが課題である。 ・しっかりとした儀式的運営ができています。さらに充実した儀式的運営になるよう周到な準備をしていきたい。 ・各行事において、議員をはじめ、多くの生徒が企画立案に関わることができた。 ・スポーツ大会を生徒実行委員会を中心に運営できた。 ◆学校行事に、1年生をより主体的に関わらせることが課題である。
<p>学習指導の徹底（教務）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の確立 ・確かな学力の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習時間調査を定期的に行い、家庭学習の状況を把握する。 ・公開授業を実施し、学校全体で知識や経験の共有化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考査2週間前と考査1週間前の学習時間調査の結果を比較すると、全学年で、考査2週間前の平日の学習時間が昨年度と比較して減少している。学年会と連携を図り、予習や復習を含めた日々の継続的な学習習慣のより一層の確立を目指していきたい。 ・6月の公開授業週間を利用し、全員の先生方に授業参観と授業見学報告書の提出を依頼し、授業見学者の所見や感想が授業担当者に伝わるようにしている。引き続き、1時間の授業の中で生徒の思考をどれだけ活性化させられるかという視点で、10月の公開授業週間においても、学校全体で授業改善に努めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に学習時間は増加傾向が見られ、継続的な学習に取り組んでいる生徒が多い。 ・6月及び10月の公開授業週間では、全ての先生方に授業参観と授業見学報告書の提出を依頼し、学校全体で授業力向上に向けた取組を実践することができた。 ◆平日の学習時間の減少とクラス間の学習時間の差が見られた。部活動と学習の両立を図りながら、隙間時間を学習に充てるような学習に臨む姿勢の育成を学年会と連携して検討していきたい。 ◆次期学習指導要領改訂に向けて、「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を、公開授業週間等を利用して継続実践していくことが課題である。
<p>進路指導の徹底（進路指導）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路情報の共有と積極的な活用 ・進路目標実現のための進路行事の充実 ・キャリア教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の授業への取組や模試の結果などを検討し、学力向上につなげる。 ・補習・模試・土曜開放などに積極的に参加できるように工夫する。 ・外部講師による講話を設定したり、体験実習などへの参加を積極的に勧める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模試の結果を生徒の進路指導に生かした。生徒への進路情報が素早く伝わるように努めた。 ・学習意欲が高まるように学習環境を整えた。 ・2学期以降の3年生の進路実現に向けての道標を作成し、見通しを立てて取り組めるようにした。1年を通したものを作成し、2年の12月保護者会で配付できるようにしたい。 ・生徒が進路選択を主体的に考えられるよう、いろんな視点から進路行事を企画し、関心を高めた。 ・教職員を対象に、新大学入試制度に関する研修会を設定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の模試では、各教科の結果を分析し、課題・対策を検討することができた。ただし、3年生は模試の数が多いため、絞り込んで検討し、生徒に還元した。また、必要な進路情報は速やかに生徒に提供することができた。 ・進路資料を教室で閲覧できるよう、環境を整えることができた。 ・3年生の進路実現に向けての道標を作成し、2年生に配付することができた。 ◆1年生の進路行事が多すぎるという意見もあり、精査する必要がある。また、2年生はオープンキャンパスを中心に、大学調べをさせるように検討したい。 ◆新1年生が新入試制度の対象になるため、その対応の準備として、英語の民間検定試験の実施を年間計画の中に設定した。今後も最新情報を踏まえ、準備に取りかかっている必要がある。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	中間評価	評価結果と課題
生徒指導の徹底 （生徒指導）	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立と落ち着いた雰囲気のある学校生活 いじめの未然防止に係る取組の充実 いじめの早期発見、適切な事案対処 交通安全意識及び交通マナーの向上 情報モラルの向上 	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝の校門指導や生徒への積極的な声かけにより、ゆとりある学校生活を送れるようにする。 身だしなみ指導により、落ち着いた雰囲気のある学校生活を送れるようにする。 全校集会や学年集会、ホームルーム活動において、生徒がいじめ問題を主体的に考える機会を設ける。 いじめの早期発見、未然防止については「新川高校いじめ防止基本方針」に従って適切に対処する。 「心のアンケート」や生活実態調査の実施により、いじめの早期発見、適切な対応につなげる。 交通安全講話・無事故無違反ラリーへの参加やPTAと協力した立ち番指導などにより、交通マナーの向上と事故防止を目指す。 PTAと協力してスマートフォン等の情報機器の適切な利用ができるよう啓発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 登校時間が遅くなってきている生徒が増加しているため、余裕を持った早めの登校を呼びかけている。 夏服への移行後、やや服装の乱れが生じている。各生徒への「声かけ」を行っている。 一部の学年やクラスで、いじめ問題を考える機会を設けた。 いじめの早期発見、未然防止につながるように問題を抱える生徒の情報収集に努めている。 第一回「心のアンケート」を実施し、結果を集約し個別事案に対処した。 無事故無違反ラリーに参加していたが、残念ながら事故が発生している。 保護者会などで、各家庭での、適切な利用について協力を依頼した。 スマートフォンの利用時間が学習や生活のリズムにかなり影響を及ぼしている。PTAとも連携して啓発を工夫していきたい。 寒い季節に入り、遅刻・交通事故の増加が懸念される。機会あるごとに注意喚起をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆二学期以降、登校時間の遅くなる生徒が増加し続けた。遅刻を繰り返す生徒への指導方法が課題である。 ◆制服を正しく着こなせていない生徒が増えた。制服の持つ意味を考えさせる指導方法が課題である。 ◆人権講話の実施により、生徒・職員が人権を考える機会となった。いじめ問題を考える機会を継続的に設けることが課題である。 ・いろいろな角度からの情報収集に努めることができた。今後もアンテナを高くする必要がある。 ◆「心のアンケート」の実施が定着した。生徒が相談しやすい環境を整えることが課題である。 ・「スタント（実演）」による自転車教室はインパクトがあった。生徒一人一人が自転車の危険性を知る良い機会となった。 ◆情報モラル講話を実施した後も、SNSの不適切な取扱いがあり、人間関係のもつれにもつながった。生徒一人一人に自覚を持たせる指導が課題である。
特別活動の推進 （特別活動）	<ul style="list-style-type: none"> 生徒議会の充実 より多くの生徒の主体的な関わり 部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒議会を、議長・生徒会役員を中心として、生徒が主体的に運営できるものとする。 学校行事において、より多くの生徒が企画段階から関われる仕組みをつくる。 特別活動部と部顧問の連絡を密にし、部活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒議会では、議長・生徒会役員の先導のもと、充実した体育祭、文化祭とするための議論を深めた。 体育祭、文化祭では、議員が企画・準備・当日運営に組織的に活動した。 部活動日誌の活用や部顧問どうしの連携により、活動時の安全確保、活動活性化に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員が中心となって、体育祭・文化祭ともに、より多くの生徒が企画立案段階から関われることができた。 ◆生徒議会では、議員からの提案による議論も必要である。 ◆文化祭クラス企画のジャンル決定方法を、より合理的なものにし、文化祭への取組や内容をさらに充実させる。 ◆部活動の安全と部員間の融和をより確保できるよう、顧問にさらに協力を求める。
教育環境の整備 充実 （保健）	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備意識の高揚 安全で清潔な環境の維持と美化活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 校内の環境整備及び美化とゴミの分別処理・減量化を徹底する。 教職員、生徒全員による学校美化活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別はおおかたできているが、一部に分別できていない状況があるので、購買ゴミのゴミ箱の表示を貼り替えるなど分別の指導を行っている。 ・今年度は再任用の職員も清掃監督をお願いした。行事などの時に清掃の徹底をお願いしており、校内環境の美化は比較的保たれていると思われる。 ・6月の除草作業は雨天のため中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用務員さんと協力して校内美化に努めた。校内に持ち込んだゴミは持ち帰るように指導している。考査中や長期休業中にもゴミ回収を行い、おおかたゴミの分別と減量化はできた。 ・美化委員による清掃チェックを実施し、校内美化活動を充実させることができた。 ◆清掃区域の数に対して、指導する職員の数が足りず、一人で多数の清掃箇所を担当しなければならぬ状況があり、課題である。
健康教育の推進 （保健）	<ul style="list-style-type: none"> 事故、けが、病気等安全に対する健康管理能力の育成 メンタルヘルスケアの充実 相談室の活用の充実 健康観察の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の心身の健康課題を理解させ、事故やけが防止の指導と事故後の早期対応を行う。 ・教育相談委員会を今年度は毎週行い、生徒情報を全職員で共有して、対応を考える。 ・昨年に続いて、相談室の活用の仕方を工夫する。 ・朝のST時に健康観察を全クラスで実施し、不調な生徒の早期発見に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒と職員の参加のもとAED講習会を実施できた。エピペン講習会はシミュレーションも行えた。保健委員会による熱中症予報も例年通り実施している。 ・教育相談委員会は毎週行っているが、不調な生徒数が大幅に増え、状況報告と情報の共有の段階から、生徒個々への対応策まではなかなか検討できない状況になっている。 ・今のところ相談室の開放に生徒から来ることはないが、相談担当の職員に個別に生徒が相談に来ており、相談室が活用できている。 ・健康観察は、教育相談委員会や学年団に集約結果を配付し、不調な生徒の早期発見に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・AED講習会、エピペン講習会、熱中症予報に加えて、保健委員による教室の空気の換気放送を行い、感染症対策を実施できた。流行性耳下腺炎が発症した際にも、速やかに消毒用アルコールを全クラスに設置した。 ・健康観察を毎朝実施し、教育相談委員会を毎週実施することで、不調な生徒の早期発見と情報共有に努めている。相談室も個別の生徒対応に利用される頻度が増えてきている。 ◆不調な生徒の人数が大幅に増え、定例の教育相談委員会の時間だけでは足りず、臨時教育相談委員会を開くなど対応した。それでも時間が十分でなく、情報の共有にとどまり、対応策まで検討しきれない部分があり、今後の課題である。
読書指導の推進 （図書）	<ul style="list-style-type: none"> 図書館利用の推進 読書意識の高揚 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書・学習の場として、図書館の積極的利用を推進する。 ・図書館の利用促進を教科や学年会と連携して進める。 ・図書委員会活動を活性化し、図書館行事の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の「探究活動」に、パスファインダーなどの情報提供によって図書の活用を推進している。 ・図書委員の主体的活動により、「春の読書週間（読書会・角田光代と直木賞特集・春の詩特集）」・「七夕フェア」・「企画展・高校生が出てくる本」の実施や展示ケースを活用することによって、図書館活動をPRしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者増加と読書意識高揚のため、「季節行事」・「各種企画コーナー」・「ガラスケース展示」などの図書館活動PRによって、来館者数・貸出冊数ともに増加した。 ・「総合的な学習の時間」の「探究活動」における図書館活用が定着し、図書資料の有効活用を図ることができた。 ・活発な図書委員会活動によって、新規に「ビブリオバトル」を開催するなど、図書館行事を充実させることができた。 ◆来館者は頻回利用者が中心であり、より多くの生徒に図書館に足を運んでもらえるような、魅力ある図書館づくりを研究していきたい。

平成29年度 学校自己評価一覧シート

愛知県立新川高等学校

項目（担当）	重点目標	具体的方策	中間評価	評価結果と課題
開かれた学校づくりの推進 (総務)	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会の充実 学校評価制度などの積極的活用 	<ul style="list-style-type: none"> 短時間で中学生や保護者の理解を深めるための運営を心がける。 学校評議員会、学校関係者評価委員会などでの幅広い意見集約に努め、学校運営に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生のアンケートからは、ビデオが分かりやすい、スタンプラリーで学校の中を回ることができて楽しいなどの好評を得ている。反省点を秋の説明会に生かしていきたい。 文化祭に来校された学校評議員の方から、「生徒から元気もらいました」とのお言葉をいただいた。今後も意見集約に努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏の学校見学会における中学生のアンケートから、学校紹介ビデオが分かりやすい、スタンプラリーで学校の中を回ることができて楽しい、などの好評を得ていることが分かる。秋の学校説明会も好評であった。来年度の行事運営に生かしていきたい。 文化祭に来校された学校評議員の方から、「生徒から元気もらいました」とのお言葉をいただいた。今後も意見集約に努めたい。 ◆PTA総会を校内実施に変更し、出席者の増加を目指したい。行事の運営方法や駐車場の確保などが課題である。
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上 学習習慣の定着と進路意識の形成 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻、欠席のない規則正しい生活態度を育成する。 交通ルール・マナーの遵守を徹底する。 補習、土曜開放等を積極的に活用させる。 面談等を活用し、具体的な進路目標を設定させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの生徒の出席状況は良好だが、特定の生徒の欠席が目立つ。心身の健康を図りたい。 1学期当初と比較し、交通ルールやマナーを守ることに意識が向けられるようになってきた。 補習についてはまだ参加者が十分であるとは言い難いが、土曜開放は積極的に参加しようとする姿勢が見られる。 模試の結果や進路アンケートをきっかけに、目標とする大学を具体的に考えるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 一部生徒の遅刻・欠席はあるが、全体的には良好な状態を保つことができた。また、交通ルールやマナーの重要性についての理解も深まってきた。 文理選択をする中で進路目標が固まっていき、それを日々の学習習慣へ反映できる生徒が増えてきた。 ◆始業直前に登校する生徒が目立つ。ゆとりを持った登校をさせることが課題である。 ◆与えられた学習に取り組むだけの生徒もいる。主体的に学習をする態度を涵養することが課題である。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の育成と進路意識の向上 学習習慣の定着と学校生活の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・欠席せず落ち着いて過ごせるような生活態度を育成する。 授業・部活動・補習・土曜開放等、学校を中心とした生活を定着させる。 面談等を活用し、志望校の設定など進路意識を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一部の生徒において遅刻欠席が目立ち、不安定な状態である。全体としては比較的良好な状態を保っている。 1年時と比較すると、補習・土曜開放等の参加者は増えてきている。さらに多くのものが参加できるとよい。 模試の結果に判定が出るようになり、少しずつではあるが、進路意識が高くなってきている生徒が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・欠席が多い生徒も一部いる。全体としては良好な状態を維持することができた。 3年生も近づき、自分の進路目標と実際の学力を比較できる生徒も増えてきた。進路意識が向上してきていると言える。また、日々の学習習慣も身に付いてきている。 ◆精神的に不安定な生徒が多くいる。面談、スクールカウンセラー等を活用して改善を図っていきたい。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の定着と学習成果の発揮 進路指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 欠席、遅刻を減らし、時間に対する意識を持たせる。 補習、土曜開放への取組を促し、学校を中心とした学習を定着させる。 面談の機会を増やし、広い視野で進路選択ができるよう、進路に関する情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年生になって特定の生徒の遅刻・欠席は目立つが、全体を見ると良好である。 部活動を引退した後や、文化祭の後などの切り替えが早くできたため、補習や土曜開放に対して積極的に参加している。学力の向上・進路実現に向けて最後まで粘り強く頑張らせた。 生徒も面談の機会を求めている場合が多く、早い段階で受験校の設定ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みからセンター試験にかけて、目標をしっかり持たせて学習に取り組ませることができた。 面談機会を増やすよう、学年間で意思疎通を図っていたため、出願に関して前向きに考えさせることができた。 ◆センター試験を境に、安易な欠席が目立つ生徒も出てきた。学校で学習を続けていく指導に課題が残った。
総合評価	<p>○学年会や生徒と向き合う時間を増やすことを目標に、職員会議等の開催回数を削減するなど業務の精選や効率化を図ったが、課題も残った。職員間の業務の分担のバランスに配慮するなどして、教職員の多忙化解消に向けた取組を前進させていきたい。</p> <p>○生徒が進路実現に向けて計画的に見通しを持って取り組むことができるように、進路選択に関する道標を作成することを通じて、進路実現に向けた積極的な情報提供を行うことができた。</p> <p>○教育相談委員会を定期的に開催し、スクールカウンセラーとの連携を引き続き図りながら、支援が必要な生徒一人一人への対応を多面的に考察し、その情報の共有に努めることができた。</p> <p>○登校時間が遅くなる生徒の数が増加し続けている。保護者との協力を図り、遅刻を繰り返す生徒に対する指導方法を検討する必要がある。</p>			

学校関係者評価結果等

<p>学校関係者評価を実施した 主な評価項目</p>	<p>各分掌の重点目標及び具体的方策</p>
<p>自己評価結果について</p>	<p>○学年会や生徒と向き合う時間を増やすことを目標に、職員会議等の開催回数を削減するなど業務の精選や効率化を図ったが、課題も残った。職員間の業務の分担のバランスに配慮するなどして、教職員の多忙化解消に向けた取組を前進させていきたい。 ○生徒が進路実現に向けて計画的に見通しを持って取り組むことができるように、進路選択に関する道標を作成することを通じて、進路実現に向けた積極的な情報提供を行うことができた。 ○教育相談委員会を定期的に開催し、スクールカウンセラーとの連携を引き続き図りながら、支援が必要な生徒一人一人への対応を多面的に考察し、その情報の共有に努めることができた。</p>
<p>今後の改善方策について</p>	<p>○登校時間が遅くなる生徒の数が増加し続けている。保護者との協力を図り、遅刻を繰り返す生徒に対する指導方法を検討する。</p>
<p>その他（学校関係者評価委員 から出された主な意見、要望）</p>	<p>○生徒一人一人を大切に、生徒をより良い方向へ導いてほしい。 ○それぞれ自己評価をし、それに対応して改善を図っている。今後の課題もきちんと考えられている。 ○これまで、授業や文化祭を見せていただいた。中学校時代には見せなかった、いきいきとした表情をしている。生徒を大切にして指導していることが分かる。 ○生徒のために、こうやるといいと考え、生徒を育てるという気持ちで、多忙感を感じないように、もたないようにしてやってほしい。 ○防災行事については、地震や水害のおそれを意識させ、低いところはどこかといった地勢を理解させ、生徒一人一人が自己を守る行動をとることができるように指導していただきたい。 ○清掃監督の先生が足りないのであれば、指導する生徒をつくるとよいのではないか。 ○交通安全教室は、生徒の間では、スタントがとても評判がよかった。 ○新入試制度など、情報があまり過ぎて分からない。配付物を渡す日がクラスによって違ったり、指導される言葉の違いがあったりして不安に思うことがあった。期限が迫っていると焦る。時期や内容についての保護者向けの説明会やアナウンスがあると、安心材料になり、子どもに念押しや確認ができる。 ○インフルエンザがはやっているが、試験に向けて予防に心がけてほしい。</p>
<p>学校関係者評価委員会の構成 及び評価時期</p>	<p>○学校関係者評価委員会の構成 学校評議員（清須市教育委員、清須市内中学校長、前PTA会長、地域代表、同窓会役員）、現PTA会長・副会長 ○評価時期 平成30年2月9日（金）</p>